

流山市市民参加推進委員会の評価シート

対象事業名	流山市新型インフルエンザ等対策行動計画の策定について
担当課	健康増進課

① 市民参加の方法の選択について

計画の立案趣旨に則り、福祉施策審議会で論議し、パブリックコメントを選択したことは妥当と判断する。

計画内容が、専門的な知識を要する内容であったことから審議会は必須であり、また、医師会からの意見聴取していることから、市民参加の手法の選択は問題なかったのではないかと評価する。また、インフルエンザは大変身近な病気であり、毎年大流行する病であることから、興味がある市民もいたと思うが、パブリックコメントが1件もないことに若干疑問も残る。

《各委員からの意見》

- ・パブリックコメントで市民からどのような意見を聞き取ったのか、ねらいが不明確である。
- ・医療関係者を中心とした審議会の選択は適切であると評価するが、医療知識の乏しい一般市民から特定の新型インフルエンザの対策計画に対する意見を求めたパブリックコメントの手法を選択したことは、効果面を考えると疑問が残る。
- ・市民の日常生活に重大な影響を及ぼす事案という認識であれば、意見交換会の選択が適切であったと考える。

② 市民参加の方法のスケジュールの妥当性について

ホームページだけでなく広報にも掲載し、また、パブリックコメントの実施期間等スケジュール的にも妥当と評価する。

《各委員からの意見》

- ・パブリックコメント実施前に広報で告知をしている点は評価するが、パブリックコメントで意見が集まらない場合は、再度、広報等で告知するなど検討されたい。
- ・審議会は事前告知並びに開催ともにスケジュールは妥当と評価するが、パブリックコメントは形式的に思われる。

③ 事業の内容や市民参加の仕組みに対する市民等への情報提供について

事業計画は、医療に関する専門的な内容であり、かつ、ボリュームがあるため、読み手の市民等の理解を得る為に概要版を作成し、市内30ヶ所に配架するなど情報提供の取組は、おおいに評価する。ただし、パブリックコメントに対する情報提供の内容や仕方に検討の余地がある。

《各委員からの意見》

- ・行政としては、市民生活に重大な影響があるという認識であったのに対し、市民の関心は結果的に薄かったというギャップがあったことからすれば、情報提供とともに情報宣伝活動を強化すべきではなかったのか。
- ・市民参加としてパブリックコメント実施を1か月開催しても意見数0件という点も含め、市民への周知および意見を言える資料内容であったのかなど疑問が残る。
- ・保健センターや医療機関にパブリックコメントの実施に関するポスター掲示の依頼、学校保健関係者に文書で情報提供する等更なる工夫ができたのではないかと。

④ 改善点について

《各委員からの意見》

- ・本事業は、緊急時における行政の対応の在り方について市民から意見を求めるものであるが、市民がどのような行動をすべきかに焦点を絞り、その結果、市民生活にどのような影響が生じるか等市民目線で説明しなければならない。そのためには、先進的な取組みを行っている自治体の事例を積極的に取り入れて対応されたい。
- ・パブリックコメントの意見提出が0件という結果から、パブリックコメント実施の周知方法や事業内容等の情報提供などの見直しが必要だと考える。また、パブリックコメントによって市民からどのような意見、情報を聞き出したのか疑問である。
- ・パブリックコメントでの意見がなかった事を考えると、当該事業内容では意見を言いたくなる内容ではなかった、市民へ関心が向けられなかったと認識し、次回の改善点として繋げていただきたい。
- ・市民参加の状況が思わしくない場合、市民参加を促す工夫が必要との認識を持ち何らかの工夫や働きかけを試みる必要がある。
- ・市民生活への影響は大きい、内容の専門性が高く、一般市民から意見聴取が難しい事案については、市民参加の促進と並行してプロパガンダ（広報活動）の強化を検討すべきと考える。

⑤ 当該事業の評価について

A	+	B	-
+	C	-	+
-	D	-	+